笠岡市新山公民館

川柳講座アクション2

ー世代を超えて伝えたい古里の文化ー

昨年応募した第４回講座アワードに続いて同講座アクション２として取り組んだ。

※参考…新山公民館ホームページ

（自主講座紹介の講座アワード欄をご覧ください）

ーおもいー

川柳に講座生だけでなく、子どもたちにも興味を抱かせ地区民同士のコミュニティーの和（輪）を広げる。

・特徴は

１、子ども目線での参加・記憶に残る「新春川柳大会」を開催し、古里への愛着心を醸成する。

２、地元川柳の盛衰を学び、今昔を知る中から世代を越えて伝えたい古里の文化を継承文化として次世代に繋いでいく。

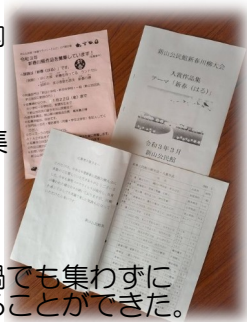
ー活動の様子ー

１、第１回　新春川柳大会

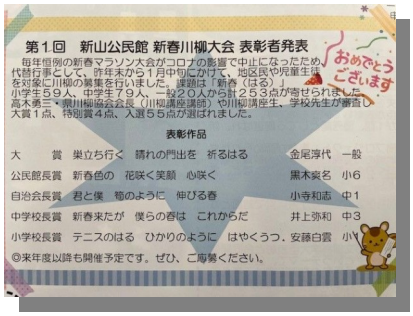
・年末から１月中旬にかけて、児童生徒、地区民を対象に募集を行った。
課題「新春（はる）」児童生徒１３７人、一般２０人から２５３句が寄せられた。

募集案内

作品集



コロナ禍でも集わずに開催することができた。



第１回　新山公民館 新春川柳大会 表彰者発表

毎年恒例の新春マラソン大会がコロナの影響で中止になったため、代替行事として、昨年末から１月中旬にかけて、地区民や児童生徒を対象に川柳の募集を行いました。課題は「新春（はる）」。小学生５９人、中学生７９人、一般２０人から計２５３点が寄せられました。高木勇三・県川柳協会会長（川柳講座講師）や川柳講座生、学校先生が審査し、大賞１点、特別賞４点、入選５５点が選ばれました。

おめでとうございます

表彰作品

大　賞	巣立ち行く　晴れの門出を　祈るはる	金尾淳代	一般
公民館長賞	新春色の　花咲く笑顔　心咲く	黒木爽名	小6
自治会長賞	君と僕　箱のように　伸びる春	小寺和志	中1
中学校長賞	新春来たが　僕らの春は　これからだ	井上弥和	中3
小学校長賞	テニスのはる　ひかりのように　はやくうつ	安藤白雲	小

◎来年度以降も開催予定です。ぜひ、ご応募ください。

公民館だよりＲ３、４月号で表彰者発表

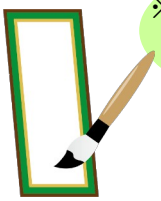
表彰式を中学校と小学校で行った。

２、川柳今昔

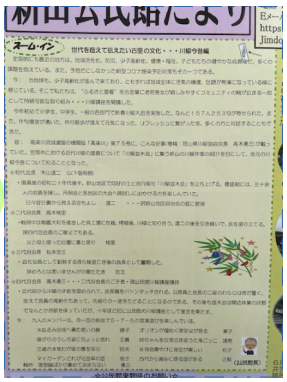
・高梁川流域連盟の機関誌（第７５号）に掲載されていた、笠岡市における近代川柳の盛衰について「川柳並木会」に集う新山の川柳作家の紹介を目にして、地元の川柳今昔について知ることとなった。

現新山地区自治会の庭に

地元柳社「川柳並木会」
初代会長　木山遠二　歌碑



※詳細…上記ホームページ参照
新山公民館だよりに掲載し、紹介した。



公民館だよりＲ３、７月号

ー効果ー

・小中学生に川柳の面白さや簡単に句が作れる喜びを応募人数から感じることができた。
また、子どもたちに呼び掛けて実施して良かったと達成感を強く感じている。

・記憶に残る活動として「ふるさと愛着」に繋がる一助になればと期待している。

・大人から散歩する楽しみができた、ショルダーポーチも買って吟行散歩をしているとの声を聞くことができた。

・第２回大会の実施に向けて準備を進めている。